

TOPICS

VOL.243

代表・特定社会保険労務士 山口 徹実

社会保険労務士 倉井 舞

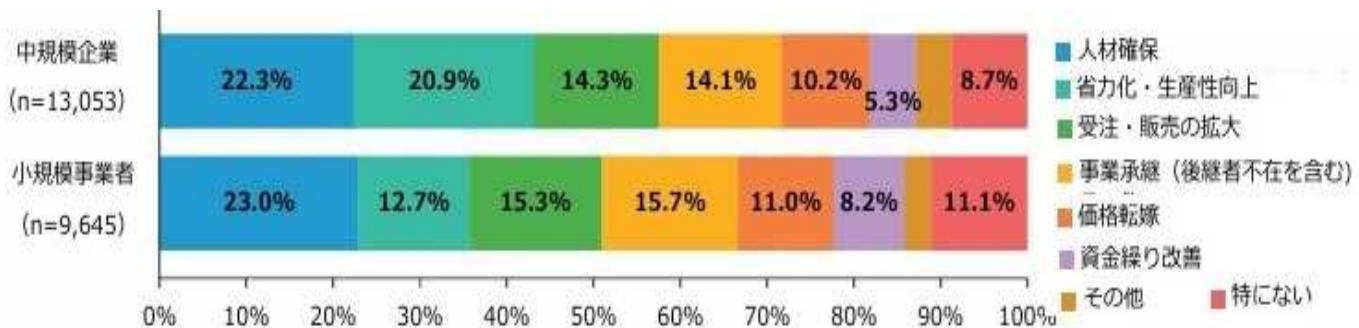
URL : co-js.com E-mail : info@co-js.com TEL 028-902-1500 FAX 028-601-7024

■■「2025年版 中小企業白書」から NO 1 ■■

中小企業庁から「2025年版中小企業白書」が発表されました。今回の白書では、「円安・物価高の継続、生産・投資コスト増、構造的な人手不足など中小企業・小規模事業者が直面する状況は依然として厳しい一方で、雇用の7割を占める中小企業・小規模事業者への期待は大きく、経営課題を乗り越え成長を遂げるための自社の現状を把握し適切な対策を打つ経営力が求められる。」としています。人事労務面を重点に、1回目は国が捉える中小企業・小規模事業者の動向、2回目は経営力を中心にその内容の一部をレポートします。

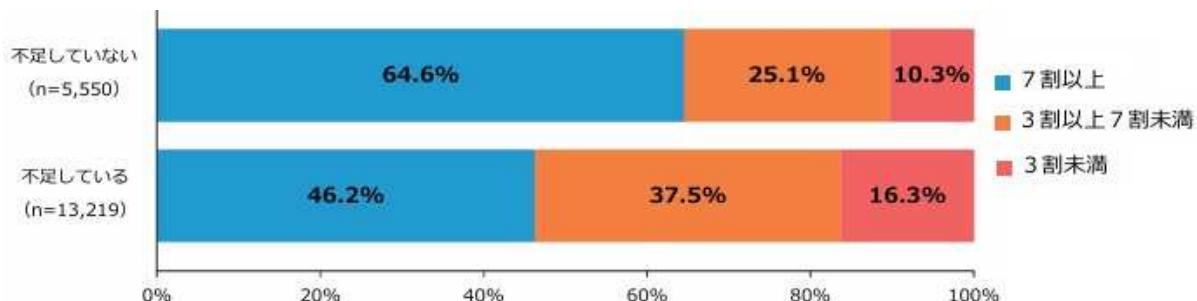
1. 最も重視する経営課題は人材確保

中規模企業・小規模事業者ともに「人材確保」と回答する割合が最も高く、人材不足への対応は企業規模に関わりがない。中規模企業では、次いで「省力化・生産性向上」、小規模事業者では「事業承継(後継者不在を含む)」の回答割合が高い。



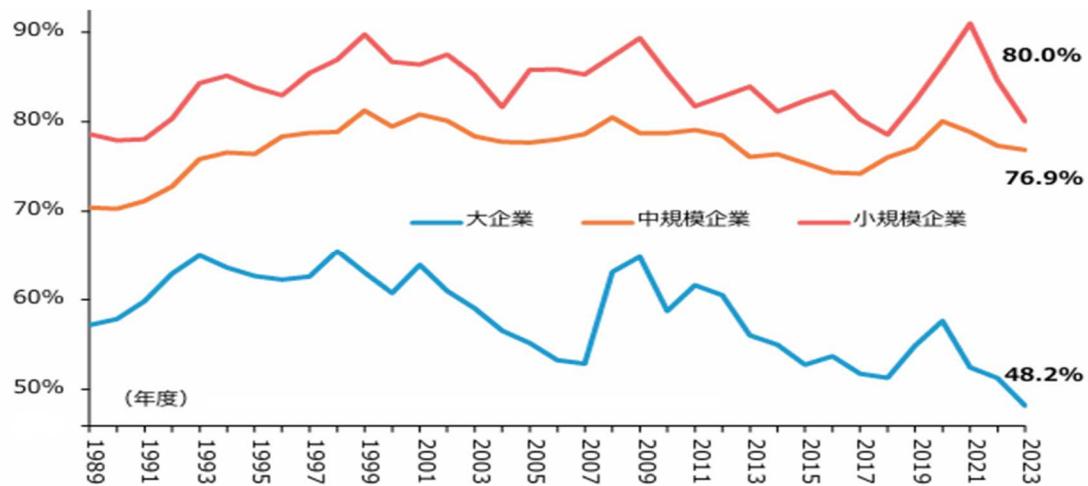
2. 従業員の不足と定着率の関係

人材が「不足していない」事業者では定着率が「7割以上」と高い。「定着率」の重要性が改めて浮き彫りとなる。



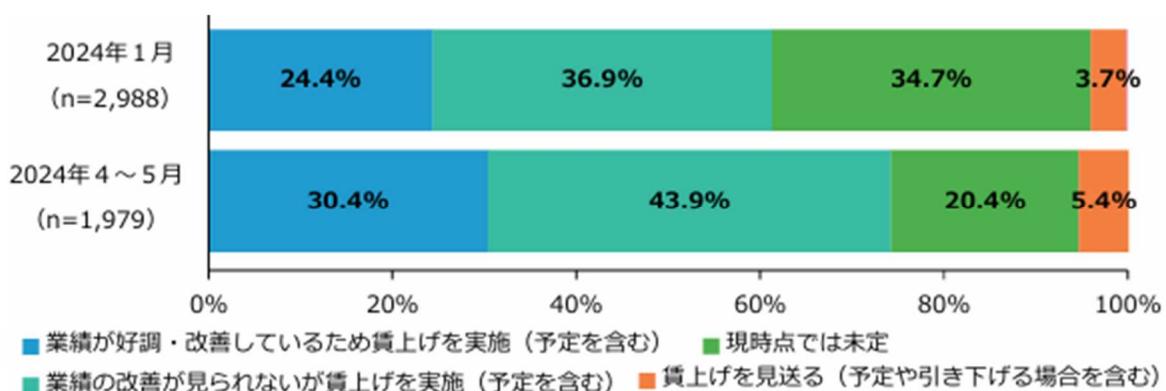
3. 労働分配率の推移

労働分配率は、中規模・小規模企業で約80%。大企業に比べ約50%弱では、中規模・小規模企業における更なる賃上げは余力的に厳しい。



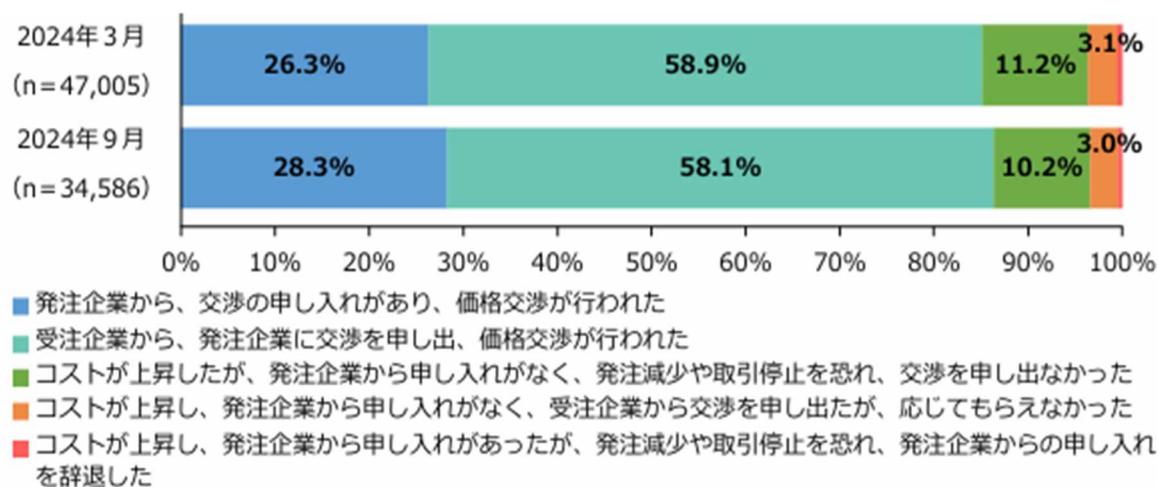
4. 中小企業・小規模事業者における賃上げの実施状況

賃上げする企業割合は高まっているが、業績の改善が見られない「やむを得ない賃上げ」の割合が高まっている。



5. 価格転嫁における価格交渉の状況

価格交渉を必要とした事業者の80%超で価格交渉が行われている。また、発注企業からの価格交渉申し入れが浸透しつつある。



以上